

圖 版



**用見崎遺跡遠景
(北側より)**

遺跡の北にある笠利崎付近より望む。矢印下の白い建物周辺が遺跡。背後には高崎山が迫り、手前にはリーフが広がる。



**調査前の遺跡近景
(西側より)**

第4次調査開始時の東側調査区。第1次調査時の遺構検出面を覆っていたシートを除去した状況。



**東西トレンチ
南壁セクション**

溝状凹地付近。2箇所
の矢印を結んだ線がⅧ層
(右側)と4層(左側)の
境界。ここで二つの砂丘
の関係を確認した。

**南北トレンチ
東壁セクション**
B-1' 区の遺物包含層堆積状況。基盤層（4層）の上に、リュウキュウヒバリを中心とする貝層（3e層）が認められる。貝層の上は2層、その上は1層（表土層）。

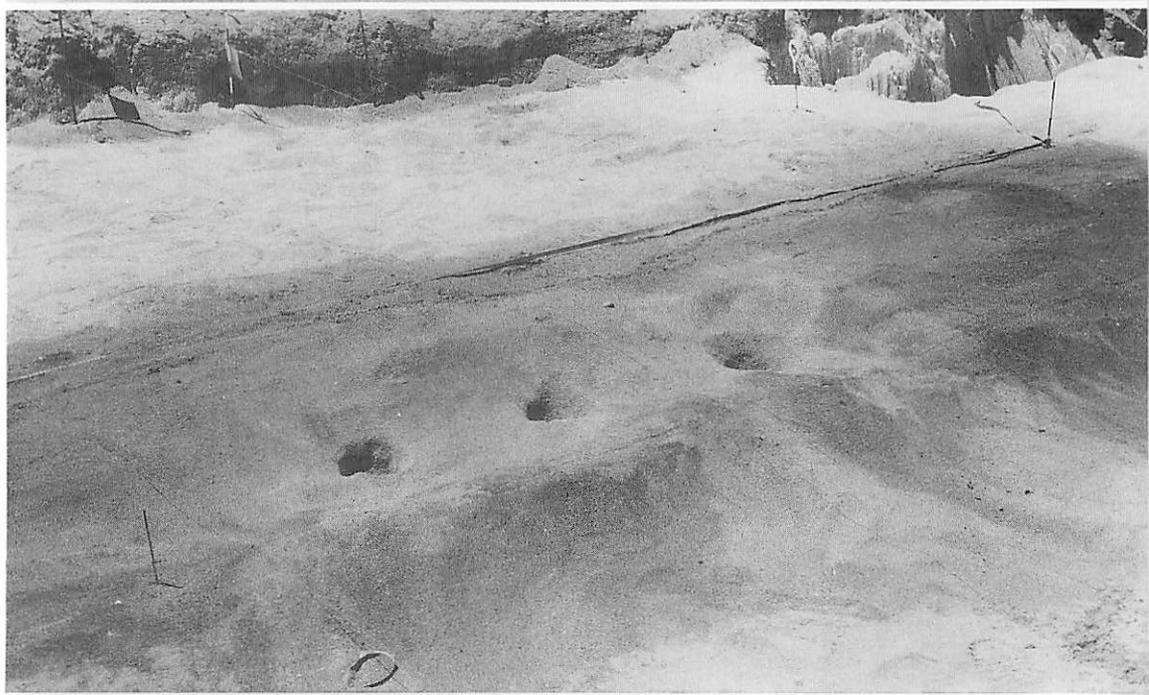


**東側調査区
（南側より）**

写真左側は溝状凹地、矢印は土手状高まり。これより手前側に遺物は分布せず、奥側に集中する。



**B-0 区柱穴検出
状況（北側より）**
写真中央を帯状にのびる黒色部分が土手状高まり。その中央に3つ並んでいるのが柱穴。





**A-0・1'区
遺物出土状況
(北西側より)**

リュウキュウヒバリ、アマオブネなど小型の貝類が多く出土。遺物は写真手前から奥に向かって带状に分布する。



**B-3区遺物出土
状況(西側より)**
東西トレンチXVII層
の出土状況。土器片
19点が出土した。



**A-1区遺物出土
状況(北側より)**
兼久式土器の甕口縁
部。付近にはアマオ
ブネなど小型の貝が
散在している。

**B-0・1' 区
遺物出土状況
(東側より)**

ヤコウガイ出土状況。
この後の掘り下げで、
周囲からさらに多くの
ヤコウガイが出土。



**調査終了時の東側
調査区(西側より)**

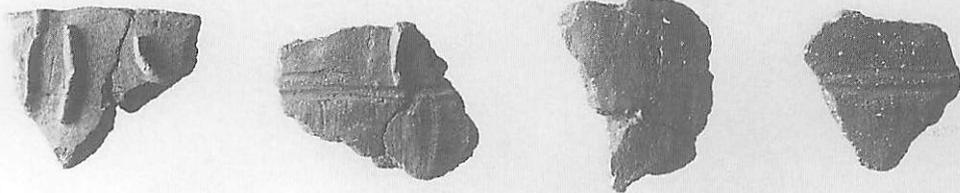
矢印①が南北トレン
チ、②が南北サブト
レンチ。これらに直
向する③が東側に延
長した東西トレンチ。



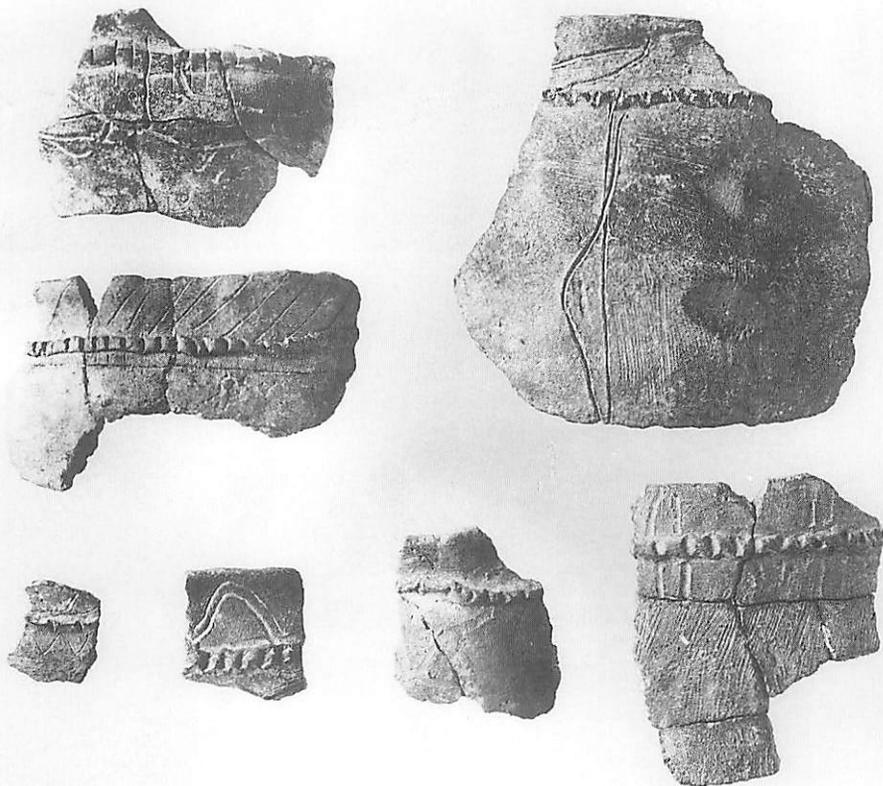
現地説明会

笠利町の方々等30名
が参加された。中央
でハンドマイクを握
るのが、フィールド
マスターの若杉あず
さ。

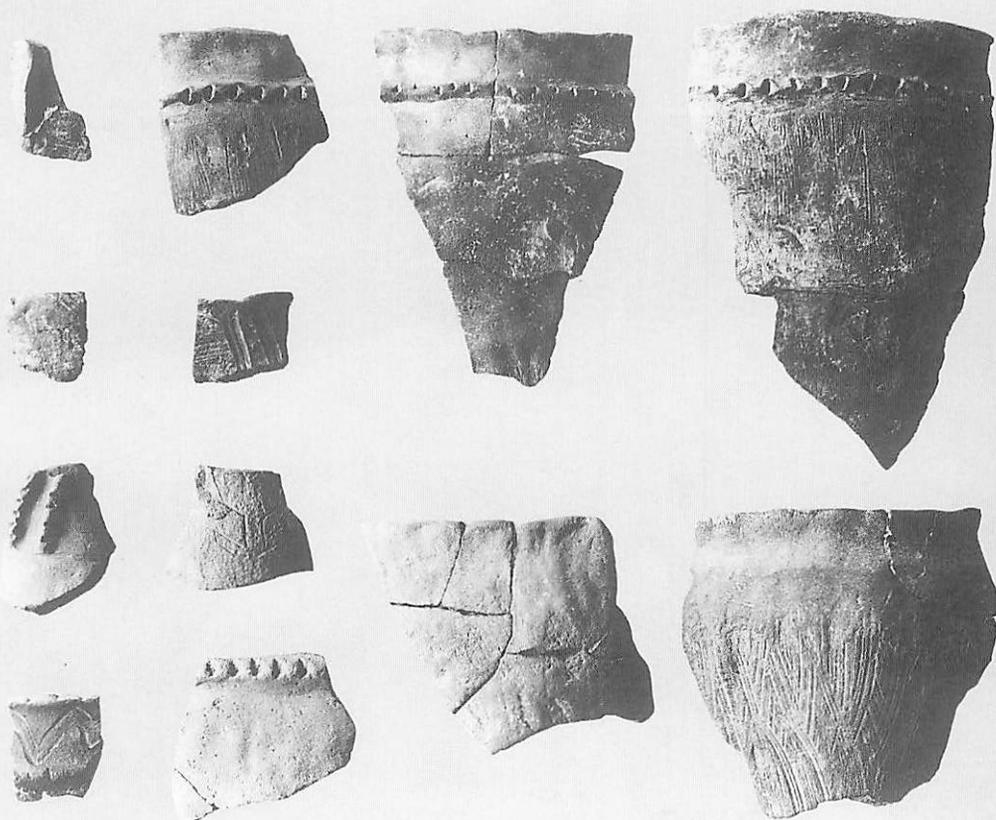




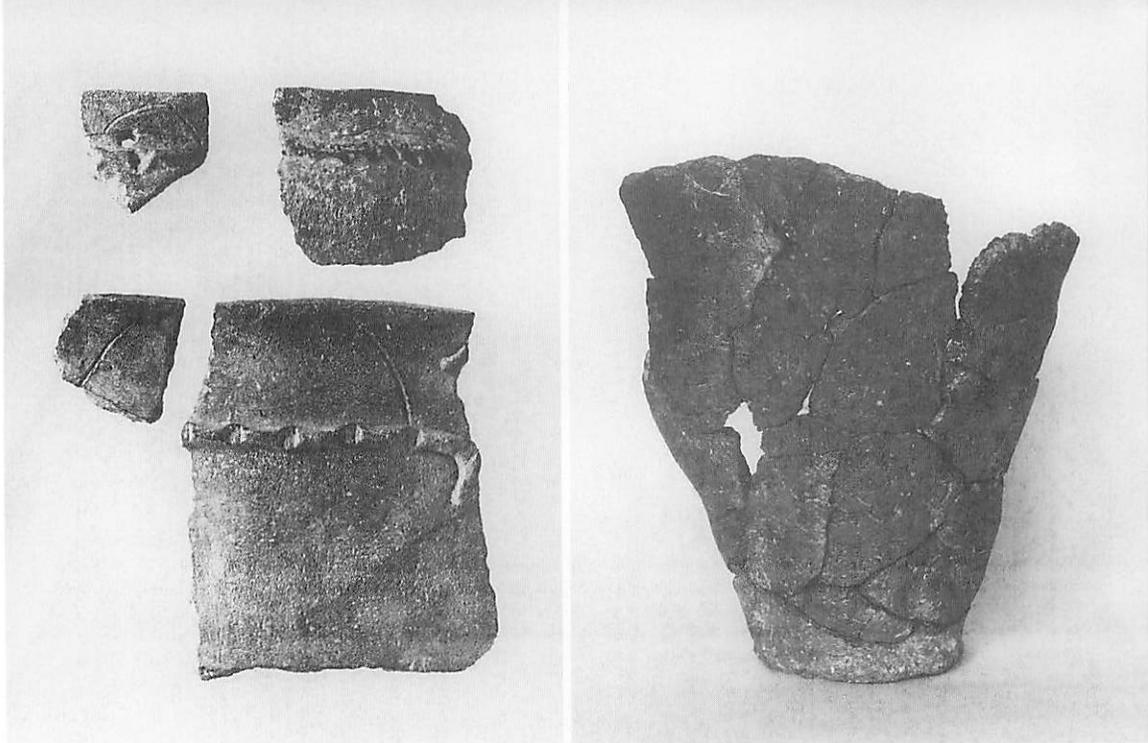
土器(1)
XVII層の土器



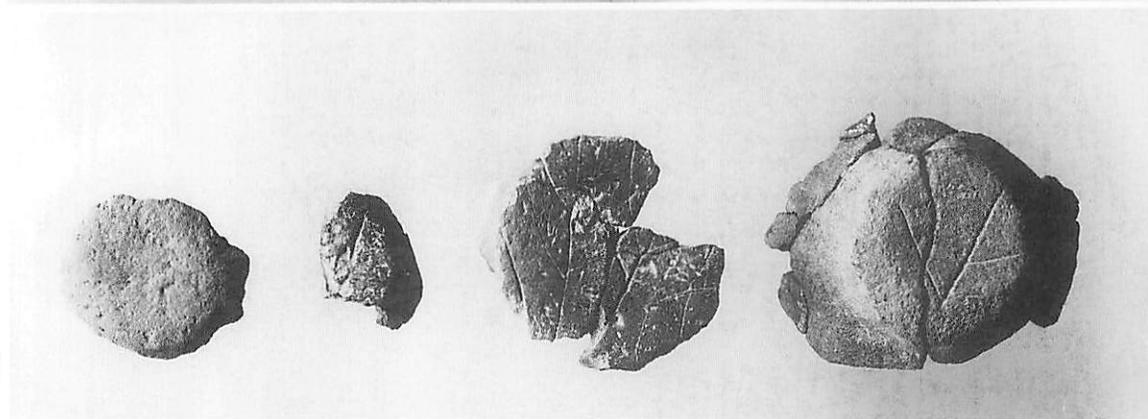
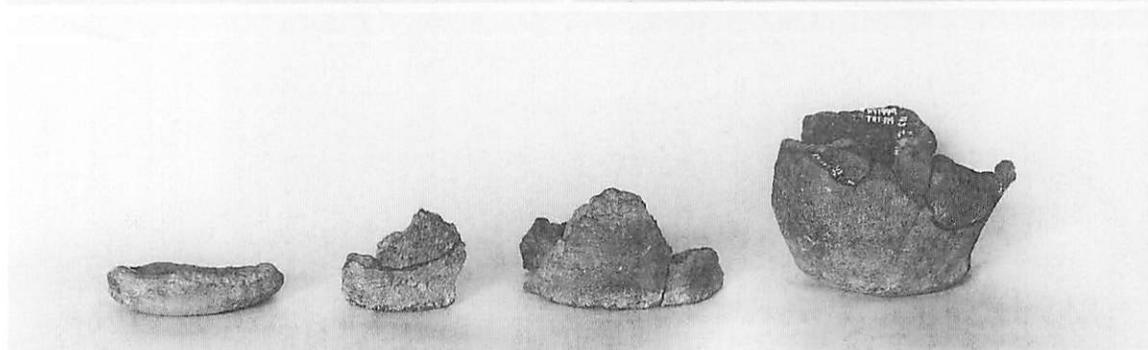
土器(2)
兼久式土器
甕(1類)



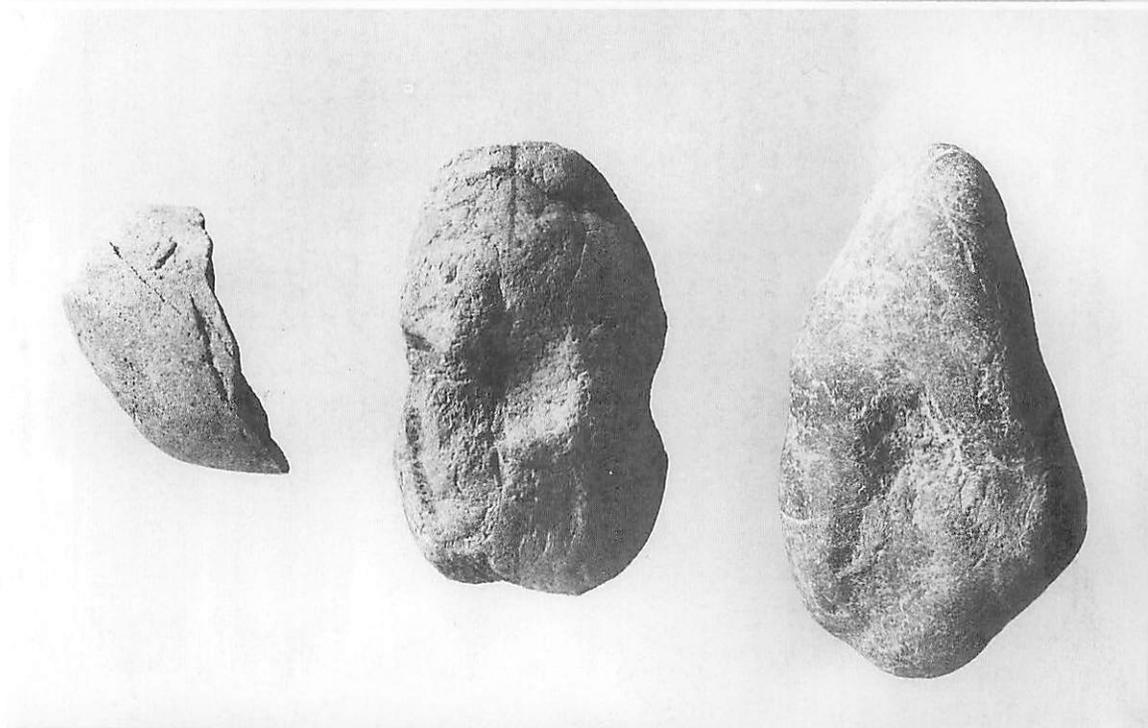
土器(3)
兼久式土器
甕(2・4類他)
壺



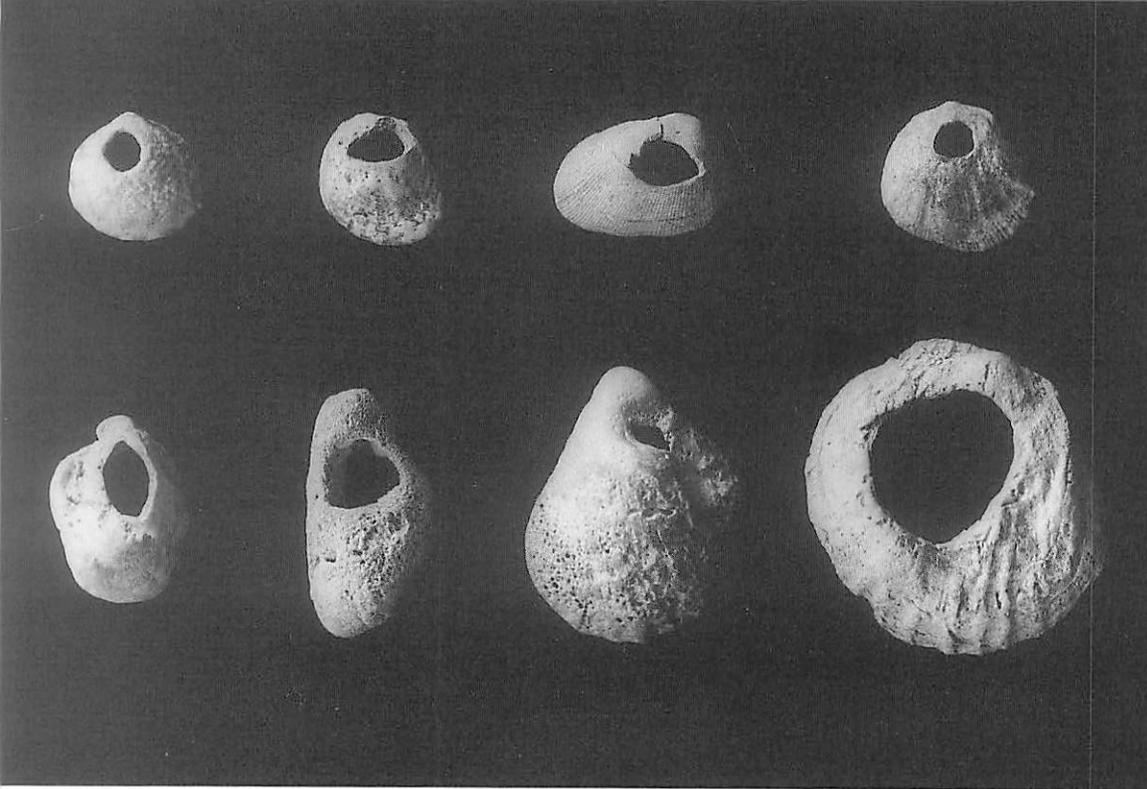
土器(4)
 左：兼久式土器
 甕(1類)
 右：兼久式土器
 底部



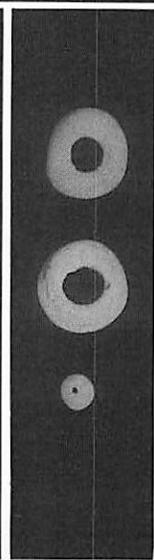
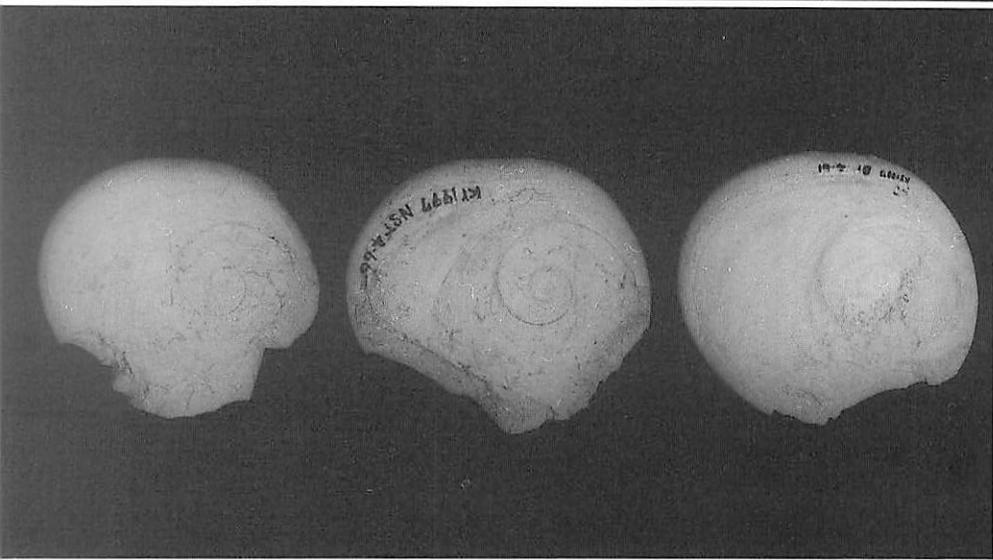
土器(5)
 兼久式土器 底部
 (下段は底面)



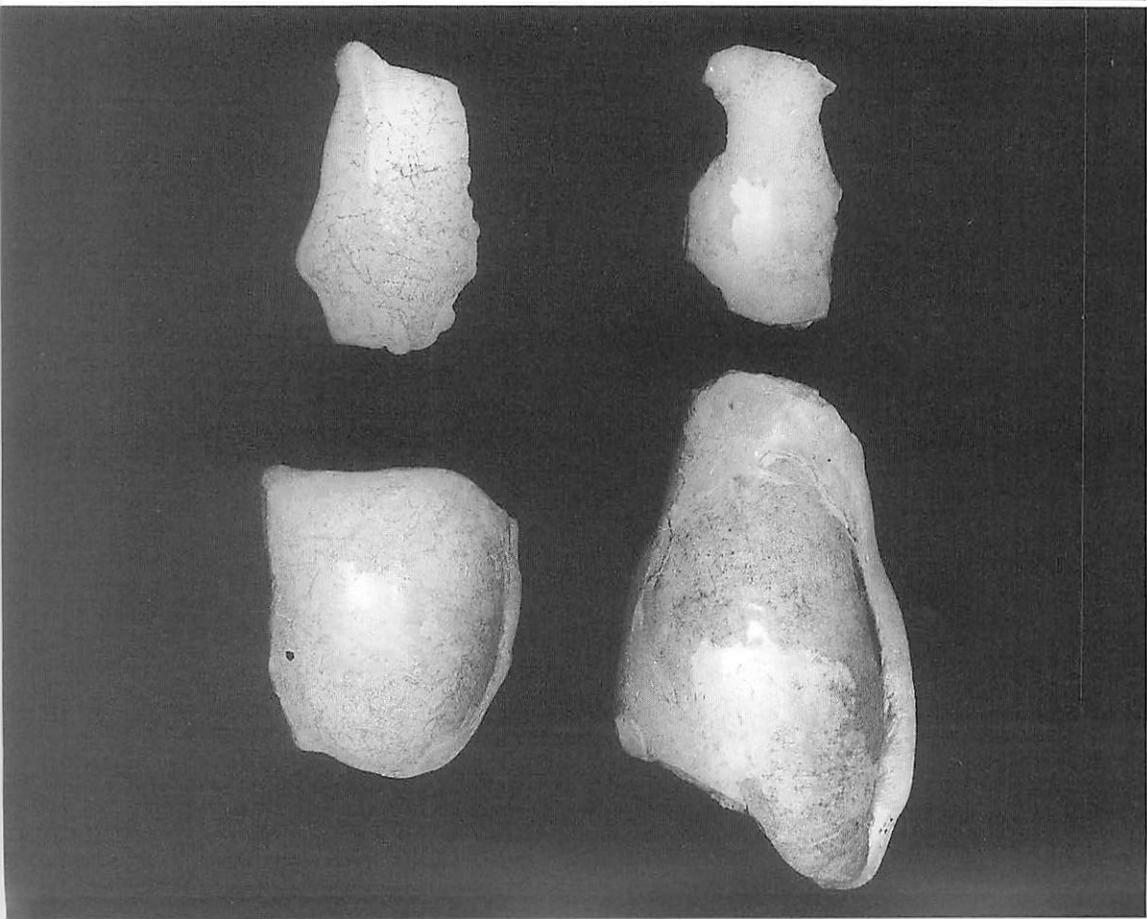
石器
 左 クガニイシ形
 石器
 他 敲石



貝製品 (1)
有孔貝製品・
サンゴ製品



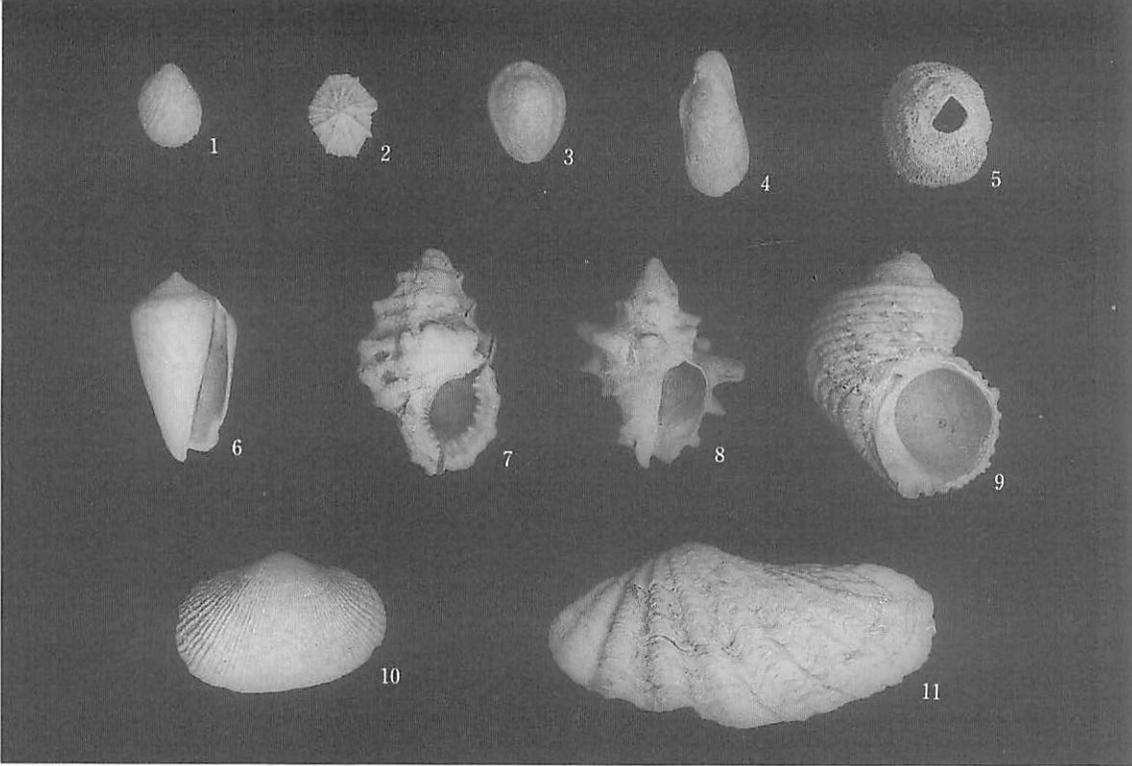
貝製品 (2)
左：ヤコウガイ
蓋製品
右：貝製玉



貝製品 (3)
左上 靴べら状貝
製品
他 匙状貝製品

自然遺物(1)

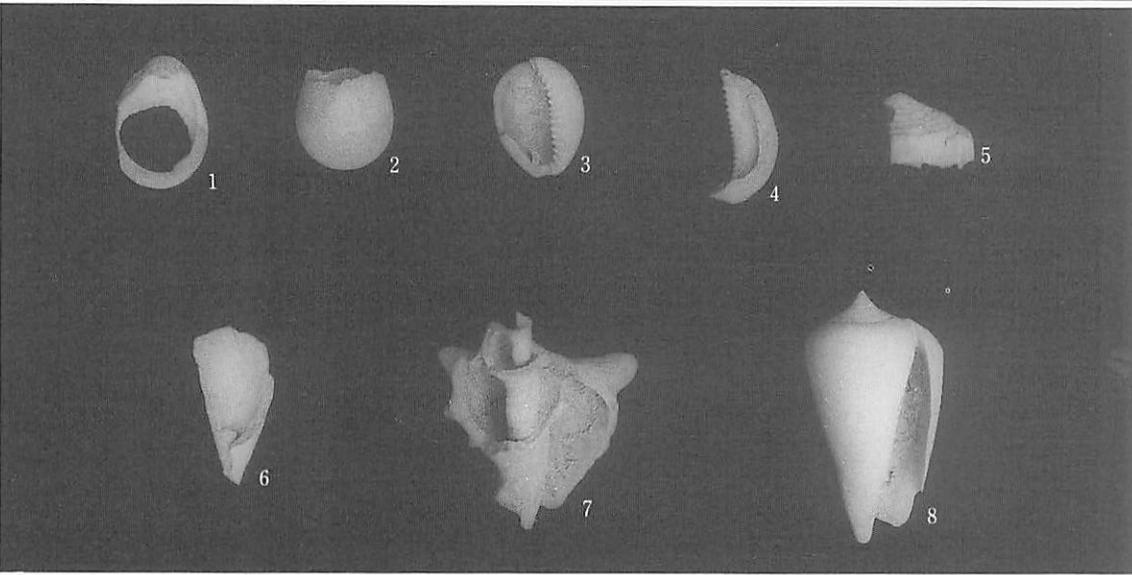
- 1 アマオブネ
- 2 コウダカカラマツ
- 3 タカラガイ科
- 4 リュウキュウヒバリ
- 5 フジツボ
- 6 マガキガイ
- 7 オキニシ
- 8 シラクモガイ
- 9 チョウセンサザエ
- 10 リュウキュウマスオ
- 11 シラナミ



自然遺物(2)

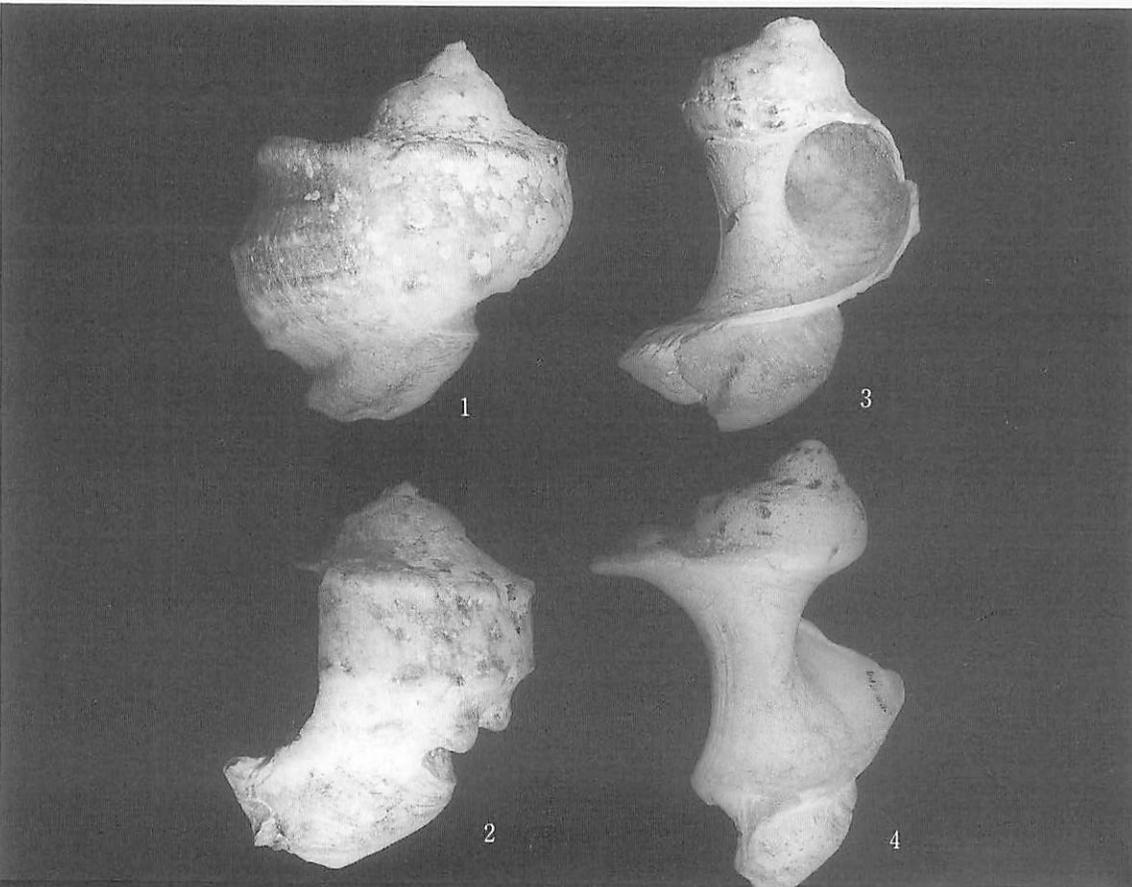
破損例

- 1 アマオブネ
- 2 ニシキアマオブネ
- 3 タカラガイ科
- 4 タカラガイ科
- 5 イモガイ科
- 6 イモガイ科
- 7 レイシガイ類
- 8 マガキガイ



ヤコウガイ貝殻破損状況

- 1 I 類型
- 2 II 類型
- 3 III 類型
- 4 IV 類型



報 告 書 抄 録

ふりがな	ようみさきいせき							
書 名	用見崎遺跡Ⅳ							
シリーズ名	考古学研究室報告							
シリーズ号	33							
編集者名	若杉あずさ							
編集機関	熊本大学文学部考古学研究室							
所在地	〒860-0862 熊本県熊本市黒髪2-40-1 TEL.FAX096-342-2324							
発行年月日	1998年3月3日							
ふりがな 所収遺跡名	所在地	コ ー ド		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
ようみさき 用見崎遺跡	鹿児島県 大島郡 笠利町 用字見崎	465283	1	28° 31' 30"	129° 41' 32"	19970711) 19970723	263m ²	学術調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特 記 事 項		
用見崎遺跡	砂丘 遺跡	6～8世紀	遺物包含層 構、建物跡	兼久式土器 石器 貝製品 サンゴ製品 自然遺物				